



第12回
東日本シニア
ボウリング選手権大会

監督会議資料

日時 2021年10月15日(金) 9:50～

会場 BIGBOX 東大和
1F ななかまど
会議室

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会

後援 公益財団法人東京都体育協会

協力 日本ボウリング機構 (JBO)
公益財団法人ミズノスポーツ振興財団

主管 東京都ボウリング連盟

※ はじめに

1. 監督会議には各団体1名の出席をお願いいたします。
2. 今大会は新型コロナウイルス感染症予防ガイドラインに基づき、無観客で競技を行います。監督、選手、大会関係者等特別に許可を得た者以外の入場は全てお断りします。
3. 初回入場時に新型コロナウイルス感染症リスクチェックシートを提出してください。(健康管理表については提出の必要はありません。)提出がない場合は、場内へ入場することはできません。選手の署名捺印が必要ですのでご注意ください。
4. 入場時、体温測定を行います。37.5度以上の方の入場は固くお断りします。アルコール消毒液も設置しますので、出入場の際は必ず手指の消毒をしてください。また、体調不良等がある場合は必ず辞退してください。
5. 参加賞等と共に監督・選手・大会関係者等にはIDカードを配布します。場内では必ずIDカードを着用ください。IDカードの使い回しによるなりすまし行為は禁止します。会場内の管理のため、それぞれ部門ごとに色分けがしてあります。来場者ごとにIDカードをお渡しします。

・女子シニア・グランドシニア	監督・選手	IDカード	・・・	ピンク
・男子シニア	監督・選手	IDカード	・・・	ブルー
・男子グランドシニア	監督・選手	IDカード	・・・	グリーン
・大会関係者		IDカード	・・・	オレンジ

IDカードは回収しませんので、各自お持ち帰りください。(ボウリング場・周辺地域に捨てて帰らないで下さい。)
IDカードの再発行は、監督を通じて競技役員へ申告してください。所定の申請書に必要事項を記入の上、再発行手数料(300円)をお支払いいただきます。
6. ボール拭き用タオルと筆記用具は各自で用意してください。
7. ボウリング場内では、マスクの着用を徹底してください。フェイスシールド・フェイスガード・透明マスク類ではなく、「マスク」の着用をお願いします。また、着用の際は鼻・口をしっかりと覆うように着用してください。競技中(投球の待ち時間含む)のマスク着用も義務付けします。ご協力をお願いします。
8. 競技開始前の挨拶における握手、ハンドタッチ(グータッチを含む、他選手と肌と肌が接触する行為)は禁止します。競技中の声出し、声援も禁止いたします。
9. その他、新型コロナウイルス感染症予防策ガイドラインを遵守して行動をお願いします。ボウリング場外においても、「新しい生活様式」に基づき、新型コロナウイルスに感染しないための最大限の努力を行ってください。

<https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/newlifestyle/index.html>

10. 感染リスクの高まる「5つの場面(別紙)」にもくれぐれも注意してください。
<https://corona.go.jp/proposal/>

監督会議次第

1. 開会の辞
2. 各部注意事項説明
3. その他連絡事項
4. 質疑応答
5. 閉会の辞

会議資料

1. 各部説明
2. 開会式配置図・場内案内図
3. 指定緊急避難場所
4. 感染リスクの高まる「5つの場面」

配付品

1. 監督章
2. 監督会議資料

※ 最高年齢者特別表彰について

1. 最高年齢者特別表彰は、式典としては行いません。監督にお渡ししますので、監督から該当選手へお渡しください。今大会の該当選手は以下の通りです。

男子 三重県 磯部 恭万 選手

女子 静岡県 板垣 愛子 選手

【各部説明資料】

総務部

1. プログラム、参加賞、IDカードは会場入り口で個別に配布します。
2. 大会運営本部は、コンコース 29L～30L 後方に設置します。
3. 進行席は、22 レーン後方に設置します。大会中は、緊急の場合を除き、個人の呼び出しはいたしません。
4. 大会期間中、監督は、会場を離れないようにお願いします。監督章は各監督が付け、会場を離れる場合は必ず代理者に監督章を引き継いで下さい。なお、正規に登録された監督が会場内にいる場合、原則として正規に登録された監督が監督章を着用してください。また、監督章を引き継ぐことができるのは、その時間に会場への入場が許可されている方のみとします。
5. 選手控室はございません。また、会場内は全て禁煙となっています。監督・選手のご協力をお願いします。
6. 大会中は会場内での携帯電話の使用及び、ボウラーズベンチ内へ持込を禁止します。やむを得ず持ち込む場合は電源スイッチを切るかマナーモードにしてください。
7. 大会中の使用ボールの損傷については、一切責任を負いませんのであらかじめ、御承知おきください。
8. 各選手の健康管理には充分御注意ください。万一、大会期間中に会場内での事故や病人が発生した場合は、大会運営本部まで御連絡ください。
9. ゴミ、空缶、空ビン等は、その都度各自で始末してください。
10. 大会中のボール置き場は、東大和グランドボウル会場内にラックを組んで3カ所に設置します。車等で保管して頂いても結構です。ボール置き場を使用する際には**ボールバッグを縦置きし、譲り合って御利用ください。尚、ボール置き場となっている部屋の機材には絶対に触れないようお願いいたします。**また、ボール置き場には貴重品を置かないでください。
11. ボウラーズエリアへのボール持込は、4個以内とします。ダブルボールバッグ2つ、あるいはトリプルボールバック1つとシングルボールバック1つで運搬するなど、見た目にも4個以内であることが分かるようにしてください。競技中のボール入れ替えは可能ですが、競技が遅延しない範囲で行ってください。5個以上の持ち込みが判明した場合、ボールを戻していただくよう競技役員より指導を行う場合がありますので、

ご注意ください。

12. 会場にボールを送る場合は、**14日(木)午後以降に会場に届くように**指定してください。届いたボールは、ボール置場に保管します。
復路の宅配便は、クロネコヤマトのみ(着払い)の取り扱いとなります。他の運送業者の往復便については各自で手配してください。取り扱いは**10月17日(日)10時～随時実施、いたします。場所は当日ご案内いたします。ただし重量は30キログラムまでとなります**
13. 大会期間中、貴重品類については各自で責任を持って管理してください。万一、盗難等のトラブルが発生しても、責任は負いかねます。
14. 大会中の使用ボールの損傷については、一切責任を負いませんので予めご了承ください。
15. ゴミ・飲み物の容器等は、その都度、各自の責任で必ず始末してください。また、飲み物類はボウラースベンチ後方に置き、コンコース側で飲んでください。
16. ボウリング場外では、都道府県名の表示されたユニフォームやジャンパー等の恰好は控えてください。
17. 大会期間中、鉛筆等の準備はありません。各自で筆記用具を持参してください。
18. 大会日程表で選手の入・退場時間を定めています。それ以外の時間での入場はできませんので、
19. BIGBOX 東大和の駐車場は入庫から1日(24時間)800円にて利用できます。駐車券にフロントで押印してもらってください。
20. 各シフト3G目終了後、ボックス内の消毒作業を行います。競技が終了した選手は次のレーンへ移動し、場内放送があるまではコンコース後方でお待ちください。

競技部・審判部

1. 各連盟の登録選手氏名および投球シフト・レーン No.等はプログラムに記載されている通りです。誤字、脱字等がありましたら監督会議終了後に競技受付へ申し出てください。
2. 競技受付は行いません。入り口での検温＝競技受付とします。
3. 選手氏名は、事前に提出された参加申込書に基づいてコンピューターに入力されています。競技開始前に、モニター画面に表示しますので、名前等の間違いがありましたら審判員に申し出てください。
4. JBC 会員証・ボール検査合格証は、選手各自が携帯してください。
5. 競技中審判員の立会が必要な場合は、手を振ってお知らせください。
6. リセットボタン・トラブルボタン利用の際は挙手にて審判員またはセンタースタッフを呼んでください。
7. 投球後のコンピューターのスコアは、各自で確認してください。尚、スコアの訂正は審判員立会のもとで行ってください。

8. 競技の進行が著しく遅れているボックスには、スローボウリング（競技規則第 134 条）を適用します。
9. ハンドコンディショナー類は、ボウラーズエリア内への持ち込みが禁止されています。ボウラーズエリア後方に置いてください。
10. 監督がボウラーズエリアに入る場合は、監督章を必ず着用してください。監督章を着用していない方は、ボウラーズエリア内へ立ち入らないでください。
11. 決勝出場選手の入場時間には次点第 1 位・第 2 位の選手の入場を認めますが、遅刻等による繰上げがなかった場合、速やかに退場していただきます。なお次点第 3 位以下の繰上げは行いません。

記録部・広報部

1. 選手入場時に個人記録シート（提出用）を各選手に配布します。各選手は 3 回戦終了後サインをして大会運営本部へ提出してください。
スコアカードは複写式ではありませんので記載後写真を撮るなどして自己管理願います。
2. スコア集計は基本的にコンピューターの結果で行いますが、個人記録シート（提出用）と照合して成績に反映します。
3. ゲーム終了後のコンソール操作は全て審判員・センタースタッフが行いますので、選手はコンソールに触れないで下さい。
4. 予選における同順位、同スコアの場合は競技会規則 1 3 3 条に基づいて行います。
5. 大会の成績ならびに決勝出場者の発表は、掲示板に掲示するとともに東京都ボウリング連盟のホームページ(<http://tokyo-bowling.com/>)にアップします。記録に対する訂正・異議申し立ては、監督を通じて記録部まで申し出てください。
6. 大会の最終成績も東京都ボウリング連盟のホームページにアップしますので、必要な方はホームページからダウンロードをお願いします。また、大会の最終成績は、大会終了後、各団体メールアドレス宛にメールにて送付します。

褒賞部

1. JBC 褒賞記録が出た場合は、審判員に申し出て褒賞申請書を受け取り、必要事項を記入して審判員に提出してください。記録を確認後、各連盟を通じて褒賞バッジをお渡しします。
2. 表彰式は、下記の通り行います。
 - (1) 部門毎 個人ハイゲーム・ハイシリーズ
 - (2) 部門毎 優勝～第 6 位

認証部

1. 原則、ボール検量の当日検量は行いません。選手は事前に各都道府県にてボール検査合格証の発行を受けてください。ボール検査合格証の紛失等により当日ボール検査が必要な場合は主管役員へ申し出てください。この場合、検査料は、1個につき500円です。この大会中のみ有効の当日合格証発行いたします。硬度検査のみの場合は、1個につき200円です。
2. 会場に持ち込んだすべてのボールを競技開始前に大会認証部で必ず登録をしてください。なお、ボールの追加登録は原則として認めません。2個以上のボールを使用する場合は2個目からは1個につき500円の登録料を添えて登録してください。
3. 5個以上のボールを持ち込まれた選手は、5個目から特別保管料として1個につき1,000円を徴収します。

個数	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7個以上
登録料	0円	500円	1000円	1500円	2000円	2500円	500円ずつUP
保管手数料	0円	0円	0円	0円	1000円	2000円	1000円ずつUP
合計	0円	500円	1000円	1500円	3000円	4500円	1500円ずつUP

4. ボール登録には、下記URLより使用ボール登録証データをダウンロードし、事前の記入をお願いします。大会当日、会場ではくれぐれもお控えください。使用ボールの登録証は1枚のみ印刷して持参し、ボール登録受付へご提出してください。
<http://www.jbc-bowling.or.jp/topics/210423/>
5. おつりが発生しないよう、料金表に基づき、事前のご準備をお願いします。原則、両替もお断りします。
6. 競技中に無作為に選手を抽出し、ボール検査を実施します。シフト終了後、主管役員より指名された選手は速やかにボール検査に協力してください。登録されていないボールを会場に持ち込んだ場合、大会で記録したそれまでの記録は全て無効となりますので、注意してください。
7. 2020年8月1日より「ボウリング施設、設備及び競技用具認証規格」が改訂され、今大会も新規格が適用となりますので、ご注意ください。
<http://www.jbc-bowling.or.jp/topics/1912/>
8. 大会認証報告
 - (1) 競技場名 東大和グランドボウル
 - (2) 公認競技場番号 113-112
 - (3) レーン認証 有効期限 2022年 3月31日
 - (4) 大会使用 ピン JBC公認 第44号ピン

名称		住所	
東大和グラントポウル		〒207-0022 東京都東大和市桜が丘1丁目1330-19 BIGBOX 2F	
都立東大和南公園		〒207-0022 東京都東大和市桜が丘2丁目106-2	

※ 東大和グラントポウル北側出口から西へ1.5キロ、南へ250メートルの都立東大和南公園

第12回 東日本シニアボウリング選手権大会

会場内配置図

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

ロッカールーム

2

女子更衣室

コンコース

場内入口	ベンダーなど	フロント	フロンツップ・ボール置き場	競技受付	ボール置き場	大会本部記録室	トイレ・倉庫
ボール置き場							

外階段へ

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。
- また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に教居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のほろ酔いでは、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋外ラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたる閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の流れや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



感染リスクの高まる「5つの場面」